(3)児童館、子育て支援センターの運営状況

・児童館
開館日数　356日
利用者数　19，704人
・子育て支援センター
開所日数　241日
利用延人数　5，321人

(4)財政収支シミュレーション

第5次総合計画が平成24年度から10カ年計画でスタートしたことに伴い、将来的な財政収支計画の見直しを行った。

結果、約55億円ある町の借金は10年後の平成33年度には、約半分の27億円になる。また、町の貯金である基金残高は、約32億円から10年後には27億円になる見込みとなっている。

経済文教常任委員会
（5月31日開催）

1．調査事項（現地調査）

(1)樺戸境川の現状

浦臼町との境にある樺戸境川は、浦臼町側の農地に取水するための堰堤を10年ほど前に設置したため、堰堤上流の水位が上がり、降雨時に農地が冠水する現象が起きている。

今後、徳富ダムが完成すると浦臼町内にも農業用水が潤沢に供給されることから、ダム完成後は取水する必要もなくなるので、堰堤を撤去する予定となっている。

(2)樺戸川災害復旧状況

昨年8月14日から15日の豪雨により樺戸川笹木地先にある落差工が全壊した。災害復旧工事として国の補助を受け工事を進め、3月23日に復旧工事が完了した。

・契約工期
平成23年12月21日から
平成24年3月30日まで
・設計額
3，330万6千円
・請負金額
3，160万5千円
・請負業者　株式会社遠藤組
・工事内容　復旧延長124m、コンクリートブロック積工111m、床止工1基22・5m、護床工　32m

2．報告事項

(1)農産物ブランド化の取り組み

・現在の推奨品
メロン1件、トマト2件、生しいたけ1件、玉ねぎ1件が推奨品となっている。
・ブランド化推進活動支援
農産物の付加価値向上、販路拡大を目的として取り組む個人等の活動に対し、事業費の2分の1を助成する。現在のところ4件の申請が上がっている。なお、助成対象期間は3年間。

(2)母村十津川村商工観光産業支援事業

十津川村の災害復興支援の一環として、十津川村で宿泊した方に3万円のふれあい商品券を交付する。現在のところ予算措置した50名に達しており、今後補正予算も検討する。

(3)ピンネ農業公社の体制

平成24年4月9日に法人登記を終え、JAピンネ組合長宮本英靖氏が代表理事理事長として就任。事務所を物産館2階に置き発足した。

・主な事業内容
①担い手の育成
②不足農業労働力の支援
③農作業の受委託の支援

樋坂議員 道町村議会議長会より表彰

25年以上議員活動された樋坂里子議員が北海道町村議会議長会から表彰され、6月13日の定例本会議前に長谷川議長から表彰状が伝達された。

空知町村議会議長会表彰

長谷川　秀樹議員
西永　勝治議員
平澤　豊勝議員

編集後記

今冬の大雪により皆様大変ご苦労されたと思います。被害にあわれた方々に心よりお見舞いを申し上げます。雪の多い年は農家にとって豊作と昔から言われますが、一気に融雪が進んだ事により、今では水不足が懸念されている状況にあります。適度の降雨により、おいしい農作物が沢山穫れることを願っています。

さて、議会報告会も多くの皆様の参加により、貴重なご意見、励ましの言葉などいただき盛会裡に終了できました。各地区からいただきました意見、要望など、議員全員で精査し、皆様に回答することもできました。不充分な点が多々あったかと思いますが、今後も精進してまいりますので、より一層ご支援をお願いいたします。

（山田）

【議会広報特別委員会】
委員長　青田　良一
副委員長　山田　秀明
委員　笹木　正文
安中　経人
西内　陽美